# たつおか

第28號

発行兼編集人　北沢小太郎
印刷所　龍共印刷株式会社
長野縣下伊那郡竜丘村
発行所　竜丘村公民館

# 成年式該當者の輿論調査

## 青年は何を考えて居るか

本年度二十才に達した成年者——時局に対し、人生の諸問題に対し、又職業に対してどの様に考えているだろうか。該当者中男性三十六名、女性二十八名計六十四名調査中、関心のある事項を左に掲げる。

（問）貴方はどの政党を支持しますか？

| | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 自由党 | 三〇 | 二一 | 五一 |
| 改進党 | 五 | 〇 | 五 |
| 社会党左 | 二五 | 一八 | 四三 |
| 〃　右 | 三 | 一四 | 一七 |
| 労農党 | 三 | 一四 | 一七 |
| 共産党 | 三 | 〇 | 三 |
| その他 | 三一 | 三三 | 六四 |
| 計 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 |

（問）再軍備について賛成か反対か御意見を書いて下さい

| | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 賛成 | 一〇 | 四五 | 五五 |
| 反対 | 八六 | 四八 | 一三四 |
| 不明 | 四 | 一二 | 一六 |

（問）貴方はどの宗教を信仰して居ますか

| | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 仏教 | 七〇 | 七〇 | 一四〇 |
| キリスト教 | 二一 | 二三 | 四四 |
| 天理教 | 〇 | 〇 | 〇 |
| PL教 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 神道 | 九 | 七 | 一六 |

（右は次の中で信仰している分類）

| | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 信仰している | 三九 | 四六 | 八五 |
| 信仰がない | 六一 | 五四 | 一一五 |

（問）貴方はどの様な職業の男性と結婚を望みますか

| | | | |
|---|---|---|---|
| 農業 | 二八％ | 俸給生活 | 三五％ |
| 商業 | 二五％ | 労働者 | 一二％ |

（問）貴方は結婚の順序として次のどちらを希望しますか

| | 男 | 女 |
|---|---|---|
| 見合結婚 | 一〇％ | 五〇％ |
| 恋愛結婚 | 九〇％ | 四〇％ |
| どちらでも良い | 〇％ | 一〇％ |

（問）図書館を利用して居ますか

| | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 一、多く利用する | 一八 | 一〇 | 二八 |
| 二、たまに利用する | 五〇 | 五〇 | 一〇〇 |
| 三、利用しない | 三二 | 四〇 | 七二 |

（問）最近読んだ本で特に良かつたと思う本名を書いて下さい

ニツポン日記、狭き門、少年期、女の学校、ものの見方、短歌入門、永遠の良人、アンナカレニナ、雪国（以下略）

（問）学校卒業后村で施設する勤労青年の教育施設を希望しますか

| | 男 | 女 |
|---|---|---|
| 希望する（九〇％） | | |
| 一、農村青年の教養 | 五〇 | 二〇 |
| 二、家庭生活科学 | 二一 | 二五 |
| 三、洋裁、和裁、生花、茶道、書道、手芸 | 九 | 三〇 |
| 四、専門的な知識 | 一五 | 二五 |
| 希望しない（一〇％） | | |
| 一、勉強の気がない | 〇 | |
| 二、家庭の理解がない | 五％ | |
| 三、家事が忙しくて出来ない | 五％ | |

---

# 村の當事者に望む!!

## 卒直な村人の言葉を聞く

＝上川路公民館＝

三月八日夜開催の村民の集いに表現されたいろ〳〵の質問と希望意見は、村内各機関の関係者に事業運営上、反省と研究の資料となるのでその要点のみを報らせたい

**學校教育關係**

ー火の用心は十分にー

飯島の火事もあつた事だし、火事には充分気をつけてもらいたい

火災保険は小中学校共現在十分かけてあるかどうか

施設改修の一番必要なものは当面何か—便所を是非直したい

教科書はどこで撰択するのか、割合費用が多くかゝつたり早くに買わしたりする事は誠にかなわん

**農協組の事業運營について**

ー増資と配分が問題ー

増資はどうしてもしなければならないか、政令云々は問題ではないからこの村の経済から考えてきりぐ〳〵一杯、いくらなければやれないのかもつと明にしてむらいたい

事業面で組合員にもつと奉仕してむらいたい

時又支所肥料倉庫の乱雑な状況を見ると、管理不充分と思うがどうか

職員の会計上の噂があるがどうか

供購対策はもつと配分をたくさん出す事が必要だと思うがどうか

本村の零細農業を農協としてどう指導するつもりか

購買品の中でも生産用資材（例えば肥料、飼料等）にもつと「力」を入れて組合員を導いてむらいたい

**部落を廻らない**

ー緑の自転車ー

ちつとも部落へ緑の自転車が廻つて来ないがどうか

事務よりも村内を廻つて技術や経営の指導に当るべきではないのか

**村政について**

国土調査について費用はどの位かかるのか、国の補助の見込みはどうか

或る委員会が一年間にたくさん酒を飲んだと言う話を聞いたが本当か税金を飲まん様にしてほしい

村の入会山分割問題が進行しないのは何故か

伊賀良との共有林対策について村の熱意が足りないではないか

積雪寒冷地帯補助工事が桐林だけへ行つたのは何故か

厚生住宅は誰が入るのか

青年学園の三年制は定まつたのか

入会山問題について伊賀良に比し竜丘の委員は出席が悪いが熱が足りないのではないか

☆

大要以上であつた。

開会の挨拶を区長牧内貞吉氏、閉会は長沼保治氏、司会と進行は北沢公民館長、農協は下平専務、原常務理事、小学校伊藤教頭、鳴海先生、橋本副館長、下平主事各臨席した。

---

# 小中学校 御別れと新に着任の先生人事

**中學校**（転退職）

堀内和子　退職
斉藤糸子　飯田市西中学校へ転勤
櫛原多喜男　下条中学校へ転勤
渡辺先生　大鹿村中学校へ転勤
川井先生　川路小学校へ転勤

**小學校**（退職）

松村　吉夫　青島　道雄
臼井よしゑ　日下部久子
古田　幸江

転任

松尾利一　千代小学校
尾関三郎　座光寺小学校
矢沢海象　川路小学校
宮下源一　清内路上小学校

**中學校**　新任職員

伊藤輝明　市田中学校より
平沢静江　飯田市西中学校より
北原光江　川路中学校より
吉沢清之　上郷小学校より
下原恒男　信大新卒

---

# 縣青年大会に委員長出席

県教育委員会及県連合青年団主催の郷土振興青年大会が二月二十四日松本市第二公民館に於て開催本村より塩沢委員長出席した。

---

# "増やせよ家畜" ごん〳〵貸せます導入資金

〈乳牛と養豚〉

本村農業委員会と酪農組合養豚組合は、農業振興計画に基き農協と協議して、畜産の発展を図る為資金を融通する事になつた。乳牛は最高三万円、豚は三千円（但し登録に限る）金利は農協貸付利率、期間は乳牛三ケ年以内の年賦償還、豚は六ケ月以内。申込先は登録仔豚の場合駄科市瀬義一、長の原今村甲子郎、時又中島正三、桐林中島今朝男、上川路田中喜十の各支部長へ申込みをされたい。

---

# 村の青年講座開講

本村連合青年会、村公民館青年学園は、青年期の教養向上の為に三月中次の講座を、毎夜熱心な青年数十名出席のもとに開催した。二十七年度は農産業一般生活文化、社会科学等に至る迄開催の要望が多いので関係者は、その希望に基づく科目を研究中である。

| 日時 | 題名 | |
|---|---|---|
| 三月十日 | 「青年の純潔教育について」 | 伊賀良村中学山田千里先生 |
| 三月十四日 | 「音楽と名曲鑑賞」 | 川路中学校長高野先生 |
| 三月十五日 | 「講和と日本」 | 信毎支局長　林武男氏 |
| 三月廿一日 | 「生活と文化について」 | 上郷小学校長木下右治先生 |
| 三月廿三日 | 「青年と恋愛のモラルについて」 | 竜丘村公民館長北沢小太郎氏 |
| 三月廿八日 | 「映画の鑑賞と演劇について」 | 飯田図書館高堂正男氏 |
| 三月廿九日 | 「青年と人生観について」 | 竜丘村公民館長北沢小太郎氏 |

---

## めきめき上達した

# 華道の精進

### 新生流昇格式　開催

本村青年学園生徒は県村切石新生流伊藤一石氏の指導を受けて勉強して居たが、師も各村の生花指導の中でも特に本村の生徒の成績の良い事を賞め、去る三月十九日茶の湯練習后に中段昇格式を挙行昇格者は次の通り

大平とし子　折金久子　下平正子
金子保子　木下美代子　井口みち
中島喜代子　計七名

---

## いよ〳〵實社会に巣立つ

# 中學卒業生の動向！

「蛍の光」の歌を唄つて学窓を巣立つ生徒、中学卒業者は百三十名その内在村者男女二十五名であるが女子二十二名の他郷就職が目立つて居る。

### 中學校生徒状況

卒業生　男子　六七名　女子　六三名

就職者数

男子
決定　一二名（内村内四名）
未定　五名
家居　九名

女子
決定　二三名（村内なし）
未定　六名
家居　一六名

進学者数　男　女

○高松　十三　二　計十五名
○長姫　商四　土木四　定時四　計十二名
○阿南　二
○下農　農科十一　林科一　定時一　計十三名
○風越　普通七　被服七　計十四名
○御牧原伝習農場　男三名　女一名

---

## 昭和二十七年度

# 予算村会始まる

三月二十六日より月末迄新年度予算会が連日開催、総額当初予算九百八十九万壱千三百八拾円、国保八十九万六千六百六拾円原案を審議する。

決定した予算については四月の館報にて、内容を詳細に村民に知らせる予定。

---

# 中青ピンポン大會に活躍

中部ブロック青年団協議会主催のピンポン大会が三月二日鼎小学校に於て開催され、本村も参加出場し善戦。鼎、松尾に続いて第三位に喰い込む。尚原和子（桐林）さんは個人試合第三位に入り、郡青ピンポン大会に中部ブロックの選手として出席する事になつた。

---

## 婦人会で開いた

# 洋裁の夜学

長野原婦人会では三月八日から十三日迄六日間区公民館で講習会開講、小母さんから娘さん迄一生懸命に勉強

---

# 龍西一貫水路第一期工事起工式擧行

三月十七日大島村工事現場に於て関係者二百名集合挙式。本村から理事、監事、村長、収入役等出席第一期工事は池田組が請負い金額七百五十万円、全総額は三億五千万円の第一着手が始められた訳である。

---

## だんだん充實する

# 小學校圖書館

昭和二十六年度小学校図書館は学童、父兄、先生の協力に依り次第に充実しつゝあるが年度末の決算状況は次の通り

| | |
|---|---|
| 収入金 | 九万九千一〇五円六〇銭 |
| 支出金 | 八万一千二三一円一〇銭 |
| 差引 | 一万八二五三円五〇銭　繰越金 |

---

# 村人のうごき

### ―二月分人口動態―

○届出は期間内に
○出生は十四日以内
○死亡は七日以内
御忘れなくどうぞ

**出生**―（オギヤア、オギヤア）

土屋　隆雄　衛次（長男）時又
下平　勝彦　武男（次男）駄科
原　善雄　大二（次男）桐林
玉木　講二　東一（長男）時又
関島　利文　毅（長男）駄科
熊谷　好子　正一（長女）駄科
佐々木貴子　尚夫（長女）桐林
前沢種良　種穂（長男）長の原
中島　寿子　昭（長女）時又
伊藤由美子　良雄（長女）駄科
下平　茂子　輝雄（長女）桐林
沖田　信子　房三（次女）時又
長沼　信子　信雄（長女）時又
代田　善郎　治男（三男）駄科
市瀬　和子　和一（長女）駄科

**死亡**―（御悼み申す）

小林かなよ　計美（母）長の原
下平　みな　忠雄（母）時又
今村　哲夫　清（長男）長の原

**婚姻**―（これはめでたい））

（駄科）中平　千春　鼎村へ　和田伍一と婚姻
（長の原）塩沢　八重　山吹村へ　小平逸夫と婚姻
（桐林）塩沢よ志子　大鹿村より　監沢正敏と婚姻
（駄科）下平みはる　伊賀良村へ　松沢謹一と婚姻
（時又）原　ますみ　竜江村へ　塩沢信男と婚姻
（駄科）木下　政子　市田村へ　酒井正美と婚姻
（桐林）林　久子　松尾村より　林　貢と婚姻
（桐林）中島　照子　竜江村より　中島達雄と婚姻
（桐林）中島登喜子　伊賀良村より　中島忠己と婚姻
（桐林）岡村　好子　松尾村へ　飯島賢治と婚姻
（時又）岡島　よう　飯田より　岡島銀次郎と婚姻
（桐林）中田　佳苗　三穂村へ　林重隆と婚姻
筒井喜代子　川路村より　筒井光雄と婚姻
岡村夕美　岡村償と婚姻

**養子縁組**―（今后よろしく）

中島　桂介　下条村　斉藤数一　同たけよ方へ養子
笹岡　スミ　笹岡定一みつゑと養子

---

## 昭和二十七年度

# 竜丘村成年の若人たち

第五回を迎えた本村成年式は、去る三月八日挙行されたが総人員は百四十二名、内訳は駄科四八名、長野原十五名、時又二九名、上川路十三名、桐林三六名、いよ〳〵将来への幸多きを期待されて成人として立つた、若人の氏名は次の通りである。

**駄科**

関島　正美　関島　勝人
田中　耕平　熊谷　千治
下平　明朗　熊谷　大治
久保田重一　下平　濃
久保田勝己　下平　利明
下平　勝昭　中島　成次
北原　通正　藤田　次郎
市瀬　寿春　代田　徳郎
中平　成也　牧島　秋雄
吉川　睦男　小島　利昭
市瀬　守男　代田　仲子
堤　春賀子　下平　利子
下平　玲子　熊谷　照子
市瀬ふさ子　熊谷八重子
塩沢　愛子　沢柳千登美
原　末子　下平チツル
下平　信子　鈴木みち子
下平寿喜子　下平伊律子
関島　千恵　下平香代子
吉川　清子　木下美貴子
矢沢　良子　併和千代子
宮下　道子　久保田敏子
林　富子　小林多恵子
池上　孝子　小島たかゑ

**長野原**

小林　義直　今村　信郎
小笠原　正　下井田豊司
佐々木順一　塩沢　千里
塩沢しげ子　今村　春子
舘野イチ子　小林　明子
小林タセ子　小林千代子
下井田よね子　佐々木みち子
中村　悦

**時又**

木下　勉　塩沢　英雄
伊原　靖郎　下田　正治
下田　三郎　伊藤　賢治
宮島　要二　安東　守三
牧内　鋭夫　松村嘉久男
宮内　正夫　下平　和三
代田　賢治　中山はま子
福与　成子　下平　妙子
斉藤　まさ　久保田恭代
山田　澄子　沖田　英子
下平　祝子　馬島　幸子
今村　ふき　平賀　明美
下田　節子　山田みづほ
小林　繁子

**桐林**

高島　英治　塩沢　栄吉
塩沢　政美　林　喜一
下平考之助　下平　恵敏
中島　一幸　林　浅男
原　佐明　林　直人
吉川　喜代　伊坪　恒雄
塩沢　政吉　佐々木京一
佐藤　恒夫　池田　正一
山村　資夫　洲原　昭夫
吉川　幸子　中島すみ子
下平　弓子　小笠原てる
原　正子　原　和子
牧内かのゑ　中島　みゑ
熊谷　誠子　中島富貴子
中田　雅子　久保田静子
原　章子　岡島　道
塚平　純子　小川　愛子
塩沢百合子　吉川　政子

**上川路**

高橋　一枝　今村　金子
井口　八重　牧内とよみ
木下　ちか　大原　定子
小室　道子　塚平あい子
杉本　和雄　塚平　清一
筒井　利幸　金子　秋雄
清水　哲

# 水稲 甘藷の育苗準備を致しましょう

竜丘村地区農業改良事務所

本年は正月以来にない悪天候に見舞れた為に、畑仕事は遅れ〳〵の状態となり、桜の花を迎へる時期に農作物の時付の準備や手入れが一諸に重なつて、是非共行なわなければならない事が沢山ありますが、その内主なるものを掲げましたから準備を忘れぬ様行つて下さい。

一、水稲の準備

1種籾の準備

品種は多収安全性の品種を選び同一品種に限らず二—三品種を取入れる事が必要です。昨年本村で作りました主なるものは、農林二二号、農林一〇号、伊那穂一号、綾錦、金南風、若葉七号等でありその他幾つかの品種が入つて居るが、特に最近新しい品種を導入傾向がありますが導入する場合は、必ず性状熟期等充分承知の上導入される様注意して下さい。

2種籾の塩水選浸種消毒

1目的　発芽の斉一と促進及越冬病菌の殺菌

2塩水選　部落青年会に於て行ふので必ず持参する事

3浸種　水温度C一〇度位の場合　一〇日間　水温度C一五度位の場合　七日間

4消毒　ウスプルン一、〇〇〇倍液に六時間浸漬（水一斗にウスプルン五匁）

3苗代の準備

1位置　なるべく日当りの良い暖い場所を選ぶ事が必要です毎年同一場所を以つて行う場合は特に堆肥を入れる事と畑土を坪当り五—八升位入れる事

2耕起　冬季打起しの出来ていない所は一日も早く打起しを行なう。今打起しをする場合は腐熟堆肥を坪当り二貫目位入れる事。

3苗代様式と播種法

短冊揚床苗代とし、条播又は撒播とする。保温折衷苗代

4播種量　薄蒔の励行　撒播一、五以内　条播一合以内

5適期播種　一毛作四月二五日中心　二毛作五月二日中心　七月に入つて田植の地帯は五月一〇日中心

6苗代日数　五〇日を中心としなるべくそれ以前が良い。苗代日数が長いと苗は徒長軟弱となり、稲熱病にかゝり易くなる。

7苗代消毒　各部落青年会を中心として一斉消毒の実施

六斗式過石灰ボルドー液撒布

BHC加用

二、甘藷育苗準備

甘藷は最近の家畜飼料としては絶対重要的なる資源であり、増産が最も必要に迫られて居るのであり、甘藷の増産は健苗を作る事と肥料を充分施す事に依り目的を達成されるわけですから健苗育成に注意して下さい。

### ウソニュース　天一坊

○復古調

老人よ大志を抱け

○扶養控除

酷制を徹底せよ　税務署

○値上げ

より高い生活を望む

電力会社

1品種　岐阜一号、農林一号、農林八号

2苗床の選定　特に冷床（醸熱材料を使はぬ）に依る場合は日当り良く風の当らない暖かい場所を選定する。

3種藷の選択　種藷は充分肥大したものを選ぶ事。

4伏込　四月一五日頃肥沃なる床土を作つておき、その中に一尺四方に一ケの割にて伏込みをする。床土は完熟堆肥を充分入れその中に坪当り硫安二〇匁、過石三〇匁、草木一〇〇匁を入れて作る。

5紙覆　伏込みが終つたなら油紙（保温折衷苗代用紙）を覆う。

6反当坪数　三—四坪

7除紙　発芽したなら紙を除き夜間低温な時や降霜のおそれある場合にむしろ等を覆う。斯くして植込み期間迄に薄い人糞尿を二—三回掛けて苗の肥大を促し、苗の長さ八寸—一尺位（一本一〇匁位）の時に本畑へ一斉に植込みを行う

三、堆厩肥の増産を致しましょう

水田畑用自給肥料として又地力維持増進の為の堆厩肥は絶対必要であり、折角出来る厩肥も積込の不完全の場合には成分の流失を来たしますので、之れの増産と同時に完全処理をする。

1石灰窒素堆肥の造成

大家畜、中家畜の耕地面積に比較して飼養の少ない場合は、無家畜農家は石灰窒素の促成堆肥を造成に努める事が必要だ。

原料　生藁（稲麦稈等）一〇〇に対し石灰窒素二貫目　水一五〇貫—二〇〇貫積込の際積込期間第一回二週間（約一五日）なし、一五日目に積替へをなし、積替後四週間（約二八日）置くと完全なる堆肥が出来る。積込中に雨水にさらすと肥料成分の流失が多くなるから、必ず屋根を作る事。

2厩肥の完全保存

冬中に出来た厩肥は、舎内に堆積して雨水のかゝらぬ様にする事と堆積する場合に充分踏圧しないと白かびが出る様になる。之れは厩肥中の嫌気性菌が空気に附れると死滅して斯う結果であり、厩肥中の肥料成分の増成はこの嫌気性菌に依つて行われるのである。（参考、堆肥の場合は好気性菌の作用による）

四、自給飼料の増産を致しましょう

家畜の導入増殖と同時に飼料の自給化を図らねばなりません。夏作自給飼料の播種期も迫りましたので増産に御努力下さい。

播種期　四月中旬—五月中旬迄にそれ〳〵蒔付けするもの

牧草　クローバー・ルーサン・オーチアード・キモシー・クズ・スーダングラス・イタチハギ

畑地栽培　青刈ヒマワリ・ビート・青刈玉蜀黍・上田豌豆・黒千石・菊芋・青刈大豆

---

# 保温折衷苗代の作り方

一、保温折衷苗代は何故良いか

1発芽期より離乳期（胚乳期とも謂う、約一〇—一三日間）迄の温度が高い事（稲の発芽適温はC二八度—三〇度）と酸素の供給が充分に行へるので、分蘖節位が低くなる事と草は巾広く厚くなり耐病性は強く多収安全性となる。

尚生育は促進され早作の適期播種が出来る。

二、種籾の準備

1品種＝比較的生育が促進されるので晩成系のもの、一毛作田用のものが良い。

2浸種＝発芽を斉一にし然も促進せしむる為に行う。

水温C一〇度の場合　十日間位

C一五度の場合　七日間

3種子消毒＝特に馬鹿苗病が出易いから必ず行う。ウスプルン一、〇〇〇倍液（水一斗にウスプルン五匁）六時間浸漬

4種籾の芽及根出し

消毒したものを直ちに風呂桶にて湯を沸かし温度が三七—三八度位にしてその中に種籾を（袋に入れる）入れる。斯くして一昼夜—一昼夜半で発芽する（その間温度が降つたら湯を沸かす）ので直ちに取り出して土中に穴を掘つて入れて根出しを行う。土の中の穴は種籾の入る穴で周囲に藁を敷いてその中に入れて湯（今迄使つた風呂の湯）を一斗—一斗五升位かけて、その上を濡れむしろで覆つてうすく土をかけ約一昼夜置くと根が出るから取出して播種する。

芽と根の伸長は約芽二分、根三分以内が良い。

三、苗代面積の決め方

品種栽培植距離により一様ではないが一応左の基準による。

坪当り播種量　八勺の場合

反当　一一坪—一二坪　一合—一、二合の場合、反当一〇坪

右は種籾を芽出しを行つて播種した場合を標準とする（成苗歩合九〇%に見て）から完全発芽の出来ない場合は幾分増加する

四、苗代の作り方

苗代の位置は今迄の水苗代の設置した所で良いが、特に灌排水の自由に出来る事が大切です。

苗代は四尺の短冊苗代とするから従来の作り方で良いが、特に巾は三尺七、八寸位が理想である。（油紙を覆ふ関係上）

五、苗代肥料

1施肥量　坪当り硫安七〇匁（内追肥一〇—一五匁）燐肥六〇匁、加里三〇匁

2施肥法　表層施肥、蒔床を作る際全面に撒布して表土に攪拌する。

六、播種

1播種期　一毛作四日二十日中心　二毛作は仮植する場合は、仮植期間を含めて田植七〇前位　二毛作で仮植をせぬ場合田植四〇日前位

2播種量　坪当り八勺、一合、一合二勺以内

3播種法　撒播、条播、均一に播種する事が大切だ。

4覆土　肥沃なる畑地を利用するのが良い、種籾のかくれる程度にするから坪当り八升（約二分の厚みにする）位を土篩いにてかけるとよい。畑土の肥沃なるものがなければ田の土でも良い。

5焼籾殻の撒布

焼籾殻をかけるのは太陽熱の吸収を盛にし、夜間の放熱を防ぎ土中への酸素の供給を盛にするため行うのであるから、真黒に良く焼いた然も籾の原形を保つて居る様に焼いたのが良い。撒布量は坪当り八升位、覆土をした上にかけて覆土が見えない程度とする。

6温床紙のかけ方

温床紙をかけるのは必ずその日の内に行う事、雨が降りそうになつたり他の仕事等により中途にして終る事でなく、播種した所はその日のうちに必ず紙をかけ終る様にする事。

7温床紙のおさえ方

七、温床紙を取除くまでの管理

1排水溝の設置　床面の乾燥を防止する為に必要だ。

2水加減　排水溝（踏切溝）にだけ入れる（約踏切の七分目位）尚降雨等の場合踏切溝の水が床面に入らぬ様、後を水の高さで完全に切つておき、余水を流れる様にしておく。

3雨水の除去　降雨により油紙の上に水が湛えて居る場合は、必ず雑布、箒等でぬぐい去る事

八、温床紙を取除く時期

本葉が三枚出た時（離乳期）直ちに取除く、普通播種後一〇日—一二日でその時期になるから常に隅より見て居て除紙の時期を遅れぬ様にする。

九、除紙後の管理

除紙後は普通苗代と全様に苗代全面に水を入れる。

1水加減　日中浅水床面五分位夜間深水、但し曇天、寒い時は日中も深水とする。

2追肥　苗の生育状況に依り硫安坪当り一〇—一五匁施す。

3苗代消毒　田植七〇—一〇日前、六斗式過石灰ボルドー液坪当り五合撒布、尚此の際螟虫の駆除を兼ねてBHC水和剤を液一斗に一五匁を入れる。

4田植の時期　播種量坪当り八合の場合　苗代日数四〇日—四五日　一合—一、二合の場合　三五日—四〇日

---

# 模範的な農村

## 上伊美篶村を視察して

連青産業部の事業として三月十八日先進村である上伊那美すゞ村の農業協同組合の運営、耕地整理、農業経営、台所改善等を視察したので其の大要報告します。電車の中で「上伊那美すゞ村視察の栞」を参加者全員に配布し、途中予備知識を研究しつゝ行く。

美すゞ村農協え着いたのは午前九時、午前中農協組合長諸田盛男氏に会議室にて美すゞ村現況について説明を受けた。

◎村の農家一戸平均の耕作反別は七反四畝、内田が三反七畝、畠が三反七畝で農業経営上の仕組が良い。そして村の耕地が三段階（上中、下）に別れておつてそれ〳〵に適地適作の指導をして居る。

◎家畜の導入は馬、役牛の一年間の労日数が三五日であるが故に、これを乳牛に換えて経済の安定をはかる。又鶏は確実な数字ではないが一戸平均十羽飼育し、五日毎に鶏卵の集荷をして居る。多い時には一日四五箱を出して居る。又新品種ニューハンプシヤーを現在十七人の組合員にて飼育して、品種の改良そして普及等して居る。

◎園芸は下伊那より雨量が少い為に病虫害が非常に少く栽培し安いので、下の段二四町歩え梨を植付して居る。又販売については伊那町、高遠町え大半を販売して居る

◎養蚕については現在一万五千貫を収繭して居るが、二年後には二万貫を予想して其の蚕糞蚕沙で家畜の飼料を取り経営を合理化する

◎農家は六人家族で労力三人にて（一町歩）田四反歩（反当り十俵—十二俵）畠四反、桑園二反（反当り二〇貫—四〇貫）乳牛一頭、緬羊二頭、鶏十五羽等飼育、又耕作して農業経営としては良く経済面では五万九〇〇〇円の黒字を出して居る。

一方五反歩以下の農家では五万円の赤字となるので、出稼又は兼業に依り補つて居る。

◎農協組合員は九一九名、婦人、青年も出資して組合運営に参画して居る。出資金は二一七万円、増資三〇〇万円半分払入終る。又貯金高は二月末現在で二七〇〇万円

◎農協婦人部も活潑にやつており春の総会で運営上の意見を聞き、秋の総会で結果を発表する。村の婦人会とは一体でやつており、又貯金もしており毎月十五日に支部長が農協へ持つて、一ケ月二万九千円位で「起上り貯金」と云い、台所の用意貯金にする。又お茶、マツチ、セツケン等それにインゲンなど栽培して責任的の様に買つてもらつたり集荷して居る。

◎現在農協の職員は二八名で指導及び技術員関係職員は十四名、役員は理事十二名。監事五名で又、技術員は農機具の修理などもして居る。そして動力噴霧機は現在五台あり、今年は二台購入して全部落一台づつ使用出来る様にしたい。公民館長は村長さんが兼任、副館長は農協組合長さんが兼任、婦人会（母親学級について）青年会（二八才制で名実共に組合をリードする）等色々説明があり、以上午前中の予定は終り昼食後、末広部落（上の段六道原）の耕地整理をした所を案内して頂く。

農道なども二間道路、五間道路が作つてあり、これはみんな交換分合にて生みだした道路だ由です。続いて末広部落の春日重治氏、笠原部落の諸田盛男氏の改善された台所を見学、花卉をやつて居る温床栽培場（カーネシヨン）を見学、又土倉式稚蚕飼育所見学、そして最後に鶏の新しい品種ニューハンプシヤー飼育場を見学、此の鶏は体重一貫—一貫五百匁、鶏卵は一ケ十五匁—二〇匁、飼料は粗飼料にて飼育しやすく今後飼育熱も盛んになると思う。現在種卵一ケ五〇円—六〇円、ヒナ二五〇円—三〇〇円

以上簡単に村報を通じて報告を終ります。

（竜丘連青産業部長　下平一郎）

---

# 短歌詠草

あかね会

☆　林市郎

鋤き上げし土より立ちてたゆたゆる地霧のありて秋陽あまねし

時雨降る夕は寒しあかぎれの手をかばいつゝ風呂に浸れり

☆　今村アキ子

松本を過ぐる頃より雨霽れて紅葉しそめし山容に映ゆ

荒海の寄する此の浜広々とかすむ果までぐみ原続く

☆　岡村美文

牛舎よりとり出す厩肥湿り居て春めきし朝の陽に光りつゝ

言葉しばらくとだえて居たり傍の草の葉の先むしりて居たり

☆　中島哲

二人三脚真剣な顔々とんで来る勝を競ふる童心を思ふ

蓄力と機械利用で争ひし父の怒りもことしは衰ふ

☆　原丙三

田の縁道辺の木々の緑かも霄雨はやみて夕映ゆるなり

集会より遅くもどりて飼へる豚月光に白く浮かびえさ食む

☆　中田美穂

もつれたる心のたかぶり苦蓮をむしる動作の荒きに見えし

口癖となりし歌なりトンコ節食卓にむかひ口づさみたる

---

# 九州開拓地へ　さようなら

### 一年生の手紙

はる〴〵九州上野地区へ入植した駄科山坂三男氏の長男勇君は二月二十三日組合送別会の席で次の様な手紙を朗読、列席の人たちは泪を滲ませ乍らぢつと聞いて居た家族招致の為帰郷中の父君と共に三月三十日出発の予定。

きようはぼくたちのおわかれのかいをおひらき下さつてありがとうございます。ちいさいときからかわいがつて下さつたおばさまたちとおわかれしなければはならなくなつたぼくたちは、ほんとにさびしくあります。九州へいつたらいままでよりももつとよいこになつてなかよくしてはたらきます。おばさまたちもどうぞいつまでも、いつまでもげんきでいて下さい。ぼくたち大きくなつたらきつといきあいにきますから、わすれずにまつてて下さい。さよなら

---

# 農村衣食住改善（セツツルメント）講習会に出席して

生徒は何を感じたか？

去る二月開講の講習会に受講した受講生の心に何の種が播かれたであろうか。どの様な生活に関係を与えたであらうか。

### 私の生活に役立つ講習だつた

十四日間の講習会を観ますと、種々様々な点に教を得た事を嬉しく感謝しています。

先づ読書は羽仁もと子先生の著作集の一部の勉強であつたが、実に私の心に深く打たれる事ばかりで、特にその日〳〵をベストを為してそれ〳〵の仕事に対しなければならないと云う事を強く感じました。

平素の私の生活はしなければならない仕事が数多くあつても何も手もつけずに、たゞ呆然と色々な思いにふけるような事が多い。そんな時ベストを為してと云う事を思い出し仕事にかかると云つた有様です。毎日の日記をつける時、一日の仕事をノートに書きとめる時グラフに現して見たら、本当に何もしない時間が多い事であろうと実に悲しくなる。明日こそはと思つても又そう云つた日が続いてしまう。こんな事ではだめだ。もつと〳〵努力して勉強しなければだめだと強く反省しました。

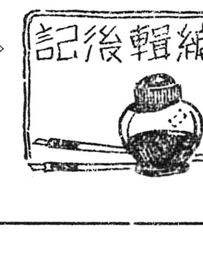
衣、食、住は勿論の事良かつた現在の私の生活にも三割位は実際習つた事が役立つていると思います。

友の会の方々の色々な良い点、悪い点と云つても書き上げることは出来ないが、非常に私の生活にも参考になり大変に良かつた。結局良い事も学び、又悪い所も学ぶ事が出来て非常に良かつた。自分に欠けている教養を自分がいかに反省しつつ今后学ばねばならぬ事を強く感じました。

青年学園二年　金子保子

---

# 編輯後記



高槻のこずえにありて頬白のさえづる春となりにけるかも

◇

しみ〴〵と赤彦の短歌が想い起される時世は正に春である。木の枝にさえづる一羽の小鳥の音にも季節の変りを告げる表現がある。

◇

昨年からの館報発行は村人のいろいろな御叱正の言葉を耳にしつつ年度末を迎えた。四月からは新しい編輯陣容が出来るだろう。

春の感傷のうちに何も言う事なしに編輯子はペンを擱く。